

検診から診断、治療まで 地域に根ざしたがん診療を提供



毎日の健康から救命救急まで。

ひとりでも多くの方に安心をお届けする。

私たちは、地域とともに

みなさまの健康をサポートします。

まいにちから、
まんいちまで。

札幌市の中心部からほど近い山の手地区にあり「人と自然の健康と調和を大切に医療を実践します」を基本理念とする。災害拠点病院の指定を受け、2018年9月の北海道胆振東部地震ではDMAT(急性期災害医療支援チーム)、初動医療班、心のケアチームを派遣し、医療支援を行った。臨床研究部では難病や希少疾患の先進的研究と治験の推進を図っている。病床数500床、30診療科。駐車場220台完備



がん診療センタースタッフ

北海道医療センターは500床を有し、100人以上の医師、約400人の看護師、他にコメディカルスタッフを合わせると750人以上が勤務する30診療科を備えた総合病院。災害医療や急性期医療の拠点として3次救命救急センターを設置し、24時間の救命医療を受け持つ一方、神経難病、結核、精神科身体合併症、小児慢性疾患などの政策医療も担う。また、地域医療支援病院の指定を受け、地域と一体となった医療システムを構築し日頃の連携はもちろん、まんないちの際にはいつでも受け入れが可能な体制をとっている。

特に外科、呼吸器外科、婦人科、泌尿器科を中心に内視鏡手術センターを設置し、「身体に優しい手術」をモットーに実施。薬物療法は従来の抗がん剤に加え、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など新しい治療も積極的に導入し、根拠に基づいた最善の治療を行う。がん緩和ケア室では多職種で緩和ケアチームを構成して早期から患者、家族を支援。がん相談支援室では患者家族の不安や疑問を軽くする支援やがんサロンも開催。院内外でがん市民講座も行い、好評を得ている。このように患者さんに優しく、新しい、最善のがん診療を提供すると同時に市民へのがん予防やがんにおける新しい情報の発信、がん検診(胃、大腸、肺、乳腺、子宮、前立腺がん)によるがんの早期発見にも力を注いでいる。なお19年2月からは新棟の建設も始まり、病院機能はさらに拡充される見通しだ。

院長 菊地 誠志氏

北海道大学医学部卒業。日本神経学会専門医・指導医・代議員。日本神経免疫学会理事。日本神経治療学会評議員。日本認知症学会専門医・指導医など。医学博士

副院長 長尾 雅悦氏

札幌医科大学卒業。日本小児科学会専門医。臨床遺伝専門医。医学博士

がん診療センター長 須甲 憲明氏

北海道大学医学部卒業。日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会各指導医・専門医。日本臨床細胞学会専門医。日本がん治療認定医機構がん治療認定医ほか。医学博士

がん診療センター長 齋藤 裕司氏

旭川医科大学卒業。日本産婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会各専門医・指導医。日本臨床細胞学会細胞診専門医。日本産婦人科内視鏡学会評議員・技術認定医ほか。医学博士

内科・糖尿病/脂質代謝内科・腎臓内科・心療内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・小児科・精神科・皮膚科・形成外科・眼科・耳鼻いんご科・アレルギー科・リウマチ科・血液内科・放射線科・外科・心臓血管外科・小児外科・呼吸器外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・リハビリテーション科・麻酔科・救急科・病理診断科

独立行政法人 国立病院機構
北海道医療センター

☎011-611-8111

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

<https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/>

診療受付時間/
月～金 8:30～11:00 13:00～15:00(一部の科のみ)※初診については原則紹介制、再診については予約制となっております。各科・曜日により異なるため事前にご確認ください
休日/土曜・日曜・祝日
最寄りアクセス/
JR北海道バス北海道医療センター前停留所下車、地下鉄東西線琴似駅から徒歩約20分